

第 185 回 池袋の後藤守正・奈美子像と護国寺の小川啓三・幸子像

筆者：林 久治（記載：2022 年 3 月 7 日）

（1）前書き

私（筆者の林）は [Random Walks（乱歩）](#) という題名で [偏屈老人（林久治）の気促な紀行文](#) のサイトを始めている。私の紀行文では、通常の紀行文にはない、斜め目線からのご紹介を書くことに拘りたいと思います。通常の紀行文に関しては、既に優れたサイトが沢山ありますので、それらをも引用しつつ、ユニークなご紹介を記載することに心掛ける所存です。

一方、私は日本の銅像探偵団 ([1\) のサイト/](#)) の銅像探索に参加している。私は珍しい銅像を探して、探偵団の団長さんに「ギャフン！」と仰っていただけることを目標としている。ここで「珍しい」とは、「①見つけ難い場所に隠れている有名人の銅像。②市井で頑張って人生を過ごしたが、有名人ではない人物の銅像」という意味である。私は自宅が東京にあり、孫達が大阪にいますので、主として東京近郊と近畿地方で銅像探索を行っている。最近、私はネット記事を丹念に調査し、そのような「スクープ銅像」の候補を多数見つけている。

武漢肺炎による自粛生活で家に籠っていると、運動不足で体重が増加するし、精神的にも圧迫を感じる。私の銅像探索は不要不急の活動ではなく、私の生存に必要な不可欠である。図 1 には、日本全国の 1 日当たりの新規感染者数を表す。昨年（2021）の東京五輪一パラの開催期間には、第 5 波の感染があったが（8/26:25,040 名）、何故か秋になると激減した（12/6:59 名）。これで終焉するかと期待していたが、本年（2022）になって第 6 波が到来してしまった（2/4:104,463 名）。

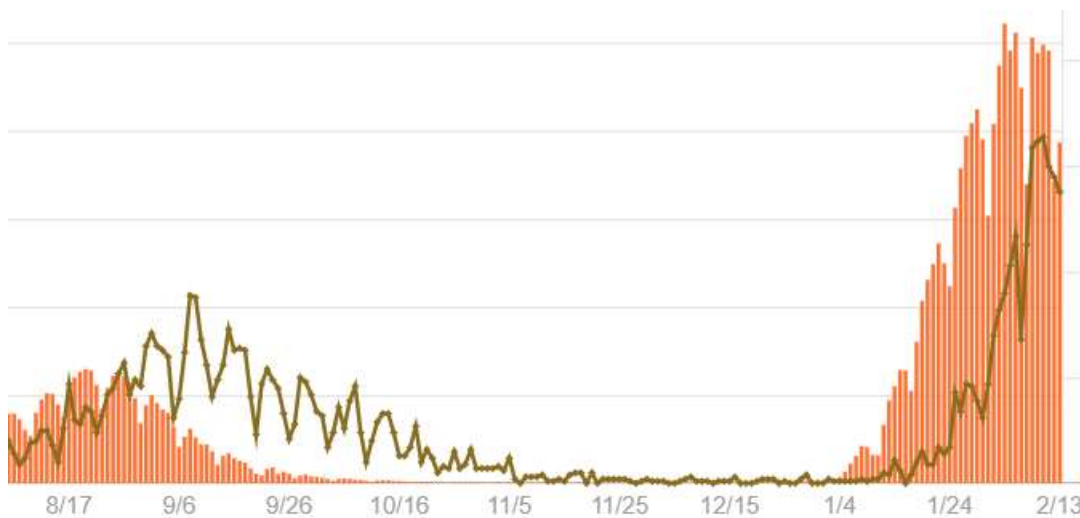


図 1. 武漢肺炎の日本全国の 1 日当たりの新規感染者数を縦軸に示す。本図は、[2\) のサイト/7](#) より借用。

私は 12 月 21 日に山野美容専門学校の子供像を探し、その探索記を [179 回の記事/f](#) に記載した。それ以降は、第 6 波が急に到来したので、暫くは銅像探索を自粛していた。幸いなことに、私は第 3 回目の予防接種を 1 月 28 日に受けることが出来た。2 月 11 日には、接種から 2 週間が経過した。そこで、私は 2 月 12 日に自宅から近場で交通機関が空いている場所として、亜細亜大学の太田耕造像と杉並区のイエス像を選び銅像探索を再開し、その探索記を [182 回の記事/f](#) に記載した。2 月 18 日には、「部落解放の父」と呼ばれる松本治一郎先生の胸像を探し、その

探索記を [183 回の記事/f](#) に記載した。2 月 25 日には神田駅前の佐藤八郎像と信濃町駅前の戸田城聖像を探索し [前回の記事/f](#) にその探索記を記載した。

私は 3 月 4 日に、池袋の後藤守正・奈美子像と護国寺の小川啓三・幸子像を探索した。本稿はこれらの銅像の探索記である。なお、本稿では資料からの引用を **緑文字** で、私の注釈や意見は **青文字** で記載する。

(2) 池袋の後藤守正・奈美子像

私は、[2\) のサイト/1](#) で後藤学園武蔵野調理師専門学校（東京都豊島区南池袋 3-12-5）の記事に銅像が掲載されているのを発見した。本像は [1\) のサイト/](#) に収録されていないので、今回探索することとした。本校の周辺地図を図 2 に示す。

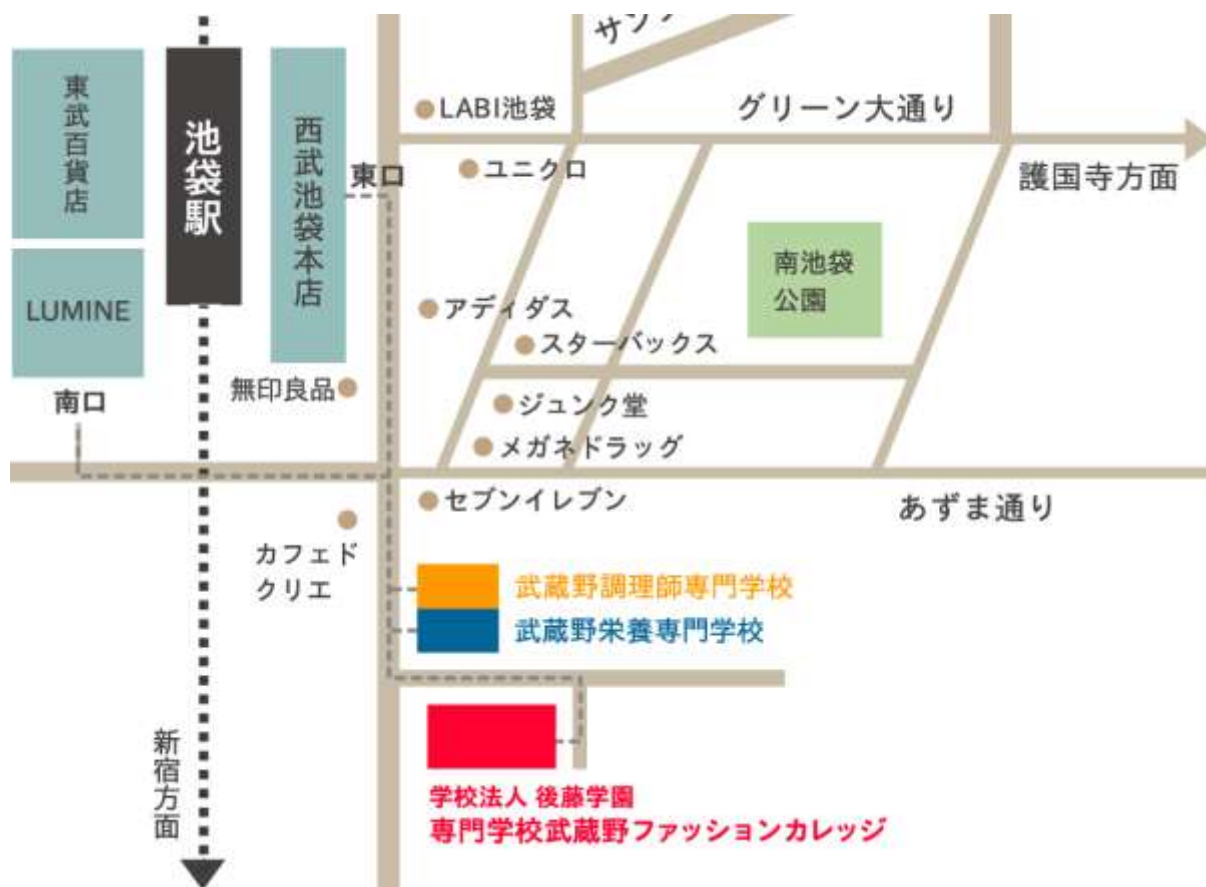


図 2. 後藤学園武蔵野調理師専門学校の周辺地図、本図は、[3\) のサイト/8](#) より借用。

図 2 に示すように、本校は池袋駅東口から「ジュンク堂書店」の前を通り、少し南進した場所の一等地に立地している。次ページの図 3 上に、本校の玄関を示す。本校は大きくて立派なビルであった。玄関に入ると、1 階ロビーの正面に 2 基の胸像が設置されていた。その写真を図 3 下に示す。本像の向かって左側に事務室があったので、私はそこに居た若い男性に「銅像を撮影してよいか」を尋ねた。彼は快く「いいですよ」と言ってくれたので、撮影を始めた。本像周辺には人は居なかった。

本文は、5 ページに続く。



図3. 上：後藤学園武蔵野調理師専門学校の玄関、下：本校の1階ロビーに設置された2基の胸像。



図4.

上：後藤守正之像

下：後藤奈美子之像



2基の胸像の近接写真を図4に示す。図4上の像の台座正面には「創立者 後藤守正之像」との題字があり、図4下の像の台座正面には「創立者 後藤奈美子之像」との題字があった。両像の背面には、制作者のサインがあった。その写真を図5に示す。これより、本像の制作者は「山名常人」と判明した。私は[116回の記事/f](#)で、関学の4学長の胸像を紹介したが、その内でC.J.L. ベーツ像と神崎驥一像の制作者は山名常人であった。



図5. 後藤奈美子之像の背面に彫られた制作者のサイン

両像の周辺にもネット記事にも、後藤守正・奈美子夫妻の経歴は見つからなかった。後藤学園武蔵野調理師専門学校の略歴を以下に示す([4\)のサイト/3](#)を参照)。

学校法人後藤学園の歴史は、昭和22年6月に設立された武蔵野ドレスメーカー女子学院に始まります。創立者の後藤奈美子は、戦後の日本の復興には女子教育の立て直しが必要であると決心し、同学院を開校したのです。その後、創立者後藤守正と共に食文化の充実を旨とし昭和43年4月、武蔵野調理師学校を設立。



創立者 後藤 守正

創立者 後藤 奈美子

図6. 後藤守正・奈美子夫妻の写真、本図は、[5\)のサイト/](#)より借用。

なお、[5\) のサイト/](#)には、後藤学園の沿革が詳しく書かれている。その中で、次のような記載がある。

1990年11月：後藤 守正 勲五等旭日双光章受章。

1993年4月：後藤 奈美子 勲五等宝冠章受章。

この当時の叙勲年齢は70歳なので、後藤守正氏の生年は1920年で、後藤奈美子女史の生年は1923年かも知れない。

また、現在、後藤学園の経営は夫妻の子息の後藤人基（ひとき）氏が継承している。彼の略歴は次の通りである（[6\) のサイト/1](#)を参照）。

1950年生まれ。73年明治大学文学部文学科を卒業。87年学校法人後藤学園理事長に就任。99年同学園学園長を兼務。2020年同学園武蔵丘短期大学学長に就任。埼玉県私立短期大学協会理事を務める。

[7\) のサイト/b](#)によれば、本像制作者の山名常人氏の略歴は次の通りである。

明治43年（1910）長野県飯田市滝江に生まれる。東京高等工芸学部彫刻部卒業、同年構造社展に初出品で入選。新構造社結成に参加し、多数の肖像彫刻に励む。ニコンに勤務しステレオ写真彫像を研究。戦後は美術教師を勤めた後、洗足商事株式会社に入社。彫刻家及び経営者として活躍。池田隼人首相夫妻、佐藤栄作首相夫妻、福田赳夫首相の胸像製作。大石内蔵助立像（赤穂御崎）、福沢諭吉像（慶大日吉キャンパス）、雪舟禅師立像（雪舟記念館）、柿本人麻呂像（柿本神社）、樋口一葉像（樋口一葉記念館）など多数の作品を残した。平成5年（2005）逝去。

以上の資料などにより、後藤夫妻像の概要は次の通りです。

後藤守正・奈美子夫妻像

設置場所：東京都豊島区南池袋3-12-5 武蔵野調理師専門学校1階ロビー

建立時期：1979年

制作者：山名常人（1910-2005、長野県飯田市の生まれ）

設置経緯：後藤夫婦の生年と没年は不明。学校法人後藤学園武蔵野調理師学校の沿革は次の通りです。

1947年6月：後藤夫妻は東京都板橋区大山西町に武蔵野ドレスメーカー女子学院設立。

1968年4月：後藤夫婦は武蔵野調理師学校を設立。

1990年11月：後藤守正は勲五等旭日双光章を受章。

1993年4月：後藤奈美子は勲五等宝冠章を受章。

（3）護国寺墓所の小川啓三・幸子夫妻像

[1\) のサイト/](#)には、護国寺墓所の小川啓三・幸子夫妻像が収録されている。しかし、夫妻の詳しい経歴、本像の制作者や建立時期などの情報は記載されていない。そこで、後藤夫妻像の探索の前に、護国寺墓所に行って小川夫妻像を探索した。次ページの図7上に、護国寺の境内図を示す。私の自宅から当寺は割合近いが、今回が初めての参詣であった。図7上で示すように、当寺は地下鉄護国寺駅の出口1のエレベーターで地上に出ると、後ろ側に仁王門がある。その写真を図7下に示す。私は、当寺が大変大きくて立派なので感激した。



図7. 上：護国寺の境内図、本図は[8\) のサイト/](#)より借用。下：護国寺の仁王門。

仁王門を入ると、その先に石段があり、その上に不老門があった。不老門を入ると、本堂があり、それは1697年建立の重要文化財であった。これらの写真を、次ページの図8に示す。

(本文は、9ページに続く。)



図8. 上：不老門、上：本堂。

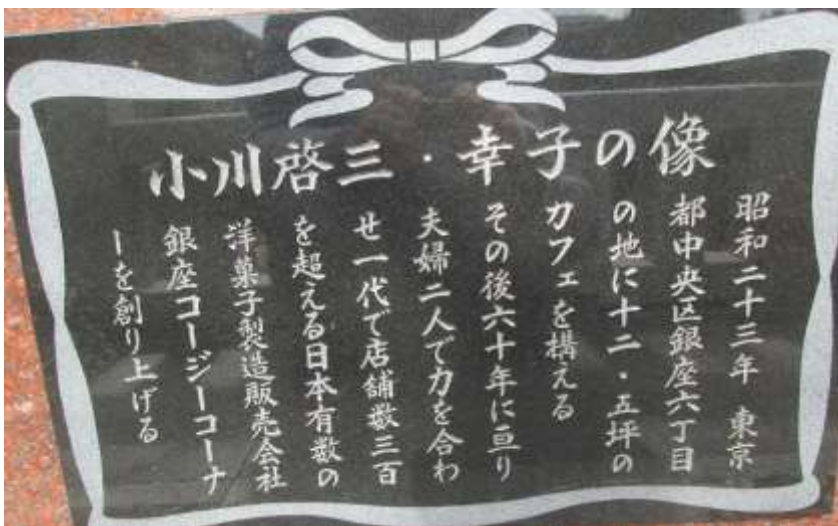


図9. 上：本堂傍にある夫妻像、下：小川家墓所の夫妻像。

本堂の向かって右側に、夫妻像が見えた。その写真を図9上に示す。図9下は小川家墓所の写真である。そこに設置された夫妻像は、夫君が細君の肩に手を置いた仲睦まじい姿であった。次ページの図10上には本像の近接写真を、図10下には本像台座の銘文を示す。



図 10.
上：小川啓三・幸子の像、
下：本像台座の銘文。



本像台座の銘文には、次のように書かれていた。

昭和二十三年東京都中央区銀座六丁目の地に十二・五坪のカフェを構える その後六十年に亘り夫婦二人で力を合わせ一代で店舗数三百を超える日本有数の洋菓子製造販売会社銀座コージーコーナーを創り上げる

本像背面に彫られた制作者のサインを次ページの図 11 上に示す。図 11 下は、[9\) のサイト/](#)にあった玉野勢三のブロンズ像のサインである。両サインの一致より、小川夫妻像の制作者は「玉野勢三」と同定できる。



図 11. 上：本像のサイン、下：[9\) のサイト/](#)にあった玉野勢三のブロンズ像のサイン

なお、[9\) のサイト/](#)には、玉野勢三の略歴が次のように書かれている。

1954年 大阪市に生まれる。

1973年 京都市立日吉高校 美術工芸コース彫刻科卒業。

1976年 土の会結成。

1979年 中日展・新制作展・中部読売点 奨励賞受賞。

1980年 中部読売点 中京テレビ放送賞受賞。

1981年 神戸 新進彫刻家の道大賞展。

1982年 愛知県立芸術大学 大学院研修科卒。全関西美術展 関西展賞 一席。

1986年 全関西美術展 無鑑査。

1988年 テラコッタ展。

1989年 全関西美術展 読売新聞社賞受賞。

1990年 第四回日本現代具象彫刻展（千葉県立美術館）。全関西美術展読売新聞社賞受賞。

小川夫妻に関するネット記事は少ないが、[10\) のサイト/7](#)（2012年10月31日付け）に次のような記事があった。

小川啓三氏（エスケーシー社長・銀座コージーコーナー創業者）26日死去、86歳。通夜は30日に行った。告別式は31日11時から12時半まで護国寺桂昌殿で行う。喪主は妻の幸子さん。

[11\) のサイト/](#)によれば、小川啓三氏の略歴は次の通りである。

1925年：誕生、1948年：昭和食品専務、1955年：大成食品社長、1966年：コージーコーナー社長、1977年：銀座コージーコーナー社長、銀座コージーコーナー会長兼社長、2012年：死去。

また、[12\) のサイト/9](#)によれば、「2020年8月5日の時点で、小川幸子さんは株式会社エスケーシーの代表取締役」である。

ウィキペディアによれば、銀座コージーコーナーの沿革は次の通りである。

小川啓三（創業者、元会長）、小川一朗（元代表取締役専務）

1948年：東京都中央区銀座6丁目に1号店をオープンし、創業。
1955年：大成食品有限会社（本店：銀座6丁目7-12）を設立。
1966年：有限会社コージーコーナーに社名変更。
1974年：株式会社銀座コージーコーナーに社名・組織変更。
1997年：モンドセレクション最高賞「グランドゴールドメダル」受賞。
2008年：ロッテホールディングスが全株式を取得し、完全子会社化。

以上の資料などにより、小川夫妻像の概要は次の通りです。

小川啓三・幸子夫妻像

設置場所：東京都文京区大塚5-40-1 護国寺墓所 本堂に向かって右側直ぐ

建立時期：不明

制作者：玉野勢三（1954年、大阪市に生まれ）

設置経緯：小川啓三氏（1925-2012.10.26）。幸子さんの生年・没年は不詳。小川夫妻は、銀座コージーコーナーを1948年（昭和23年）に東京銀座6丁目に12.5坪の小さな喫茶店として創業しました。当時はまだ珍しかった洋菓子を多くの人に食べてもらい、笑顔になってほしいそれが創業者の願いでした。社名の由来は「憩いの場所」（cozy=居心地のよい、corner=空間）です。首都圏を中心として、全国に300店舗を展開していたが、バブル崩壊後は経営不振となり、2008年3月にはロッテホールディングスが全株式を取得し、完全子会社化した。

なお、小川夫妻の長男である小川 一郎（通称：南 喜一郎、1957-）氏はワイン業に転身し、彼の近況は、[13\)のサイト/](#)に詳しく紹介されている。

参考資料

- 1) のサイト：<https://douzou.guidebook.jp/>
- 2) のサイト：<https://ameblo.jp/komaneconchi/entry-11937206052.html>
- 3) のサイト：<https://www.goto.ac.jp/#page8>
- 4) のサイト：https://www.musashino-chouri.ac.jp/digitalbook2022_c-ad/pageindices/index42.html#page=43
- 5) のサイト：<https://www.musashino-fashion.ac.jp/about/history/>
- 6) のサイト：http://souken.shingakunet.com/career_g/2020/11/post-f6a1.html
- 7) のサイト：
<https://blog.goo.ne.jp/taktsuchiya/e/59a5b41d0aacf2f18c78a7393e3a622b>
- 8) のサイト：<http://welfare.sogood.jp/wheelchairtraveling/temple/gokokuji/>
- 9) のサイト：<https://www.eirakudou.com/5253/>
- 10) のサイト：<https://news.nissyoku.co.jp/news/muraoka20121030075123037>
- 11) のサイト：<https://keibatsugaku.com/ogawa0119/>
- 12) のサイト：<https://catr.jp/settlements/1bef5/174269>
- 13) のサイト：<https://www.zaikei.co.jp/releases/451823/>